

平成26年度第1回箕面市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

開催日時	平成26年5月19日(月) 15:00～16:30
開催場所	箕面市役所 2階 特別会議室
出席委員数	11名
欠席委員数	2名
傍聴者数	2名

1 任命式

- ・任命書交付 奥山副市長
- ・奥山副市長挨拶
- ・自己紹介

2 平成26年度第1回箕面市廃棄物減量等推進審議会開会

①会長選出、会長代理指名

- ・会長は大阪学院大学の三輪先生、会長代理は京都精華大学の田村先生に決定。

3 案件

事務局	<p>【案件1】 (資料1・2) 審議会の概要について</p> <p>【案件2】 (資料3-1・3-2) 箕面市一般廃棄物処理計画について</p> <p>【案件3】 (資料4) 箕面市廃棄物行政の概要について</p> <p>以上3件について、一括して事務局説明</p>
委員	<p>【主な質疑応答】</p> <p>し尿の収集量は、人口の増加とともに今後も増えるのではないかと。</p>
事務局	<p>山間部は府の公園内のトイレを収集している。街中は下水道が整備されているが、高低差等の理由で接続できないところを収集している。工事現場については、汲み取り式と下水管へ接続している場合とがあり、収集量・処理量とも今後増加していくとは考えられない。徐々に減っていくと推測される。</p>
委員	<p>ごみの収集・排出量の考え方は。</p>
事務局	<p>家庭系のごみと事業系のごみがあり、人口の増加に伴い排出量は微増となっているが、市民一人当たりの排出量は減少している。</p>
事務局	<p>し尿の収集処理については、定期収集は一般家庭が対象で現在21世帯ある。</p>

	<p>従量制は事業所16件で全体の7パーセント、臨時収集は主に建築現場で仮設トイレの収集であり、開発に伴うものである。</p>
委員	<p>事業所のごみのうち、カン・乾電池等は市が収集していないのか。</p>
事務局	<p>許可業者が収集し、市が事業系一般廃棄物として処分している。</p>
会長	<p>人口が増加してもごみはあまり増えないのは、3Rの観点から市が努力しているからである。</p>
	<p>【案件4】(資料5-1・5-2・5-3)ペットボトルのモデル収集について</p>
委員	<p>ペットボトルの全戸収集について、容器はどうするのか。</p>
事務局	<p>各自でかごを用意してもらおう。</p>
委員	<p>ペットボトルは軽いから、かごに入れておくと風が吹けば散乱するがどうするのか。</p>
事務局	<p>ペットボトルをそのまま入れずに、キャップを外して、ラベルを外して、つぶして出し てもらおうとかなりの量が入るし、散乱しにくい。</p>
委員	<p>ペットボトルの全戸収集は反対である。1回やったらやめられない。しかし、拠点回収 だけであればいつでもやめられる。</p>
事務局	<p>前回の審議会でも検討していただいた。拠点回収をコンビニ等をお願いしたがな かなか協力を得られず増加しなかった。公共施設でも回収を行っている。 当面、拠点回収と個別収集を並行してやっていきたい。</p>
委員	<p>容器プラスチックで資源化量が減ってきたのはなぜか。</p>
事務局	<p>ここ2~3年、対象以外のプラが入れられている。また、汚れているものも混入して おり、そういうものについては資源化できないため、清掃工場で処分しているため、 資源化量が減少したものである。</p>
	<p>【案件5】(資料6-1・6-2)ごみ処理施設基幹改良事業について</p>
会長	<p>クリーンセンターの建設後22年が経過し施設の長寿命化のため基幹改良工事を行 うとの説明だが基幹改良工事の基幹部分とはどの部分か。</p>

事務局	基幹部分は、ごみ焼却炉の主要な部分である廃熱ボイラーの改造び排ガス減温装置並びに受電設備である。これらを新しくすることでCO2が約20%削減される。
委員	建替えではなく、改修なんですか。
事務局	現在2機の焼却炉があり、交互に一定期間止めながら改良工事と運転を並行して行っていく。
委員	新築した方が結果的にはいいものができるのではないかと。
事務局	今の施設は180億円で整備している。新築する場合は用地確保及び建て替え期間中のごみ処理(年間4万トン)の対応が難しいこともあり、総合的に考えた結果、新築より改修のほうが合理的となったものである。
委員	委託料が初年度に多いのはなぜか。
事務局	「循環型社会推進地域計画」、「廃棄物処理施設長寿化計画」と「長期包括責任委託導入可能性調査」、「長期包括責任委託契約支援」を一体的に総合評価入札で実施する。国の交付金要件である「循環型社会推進地域計画」と「廃棄物処理施設長寿化計画」を先行して実施する必要があるため、初年度が多くなっている。
会長	平成26年度・27年度に循環型社会推進地域計画を作成するにあたり、審議会で少し情報が公開され検討していくのか。
事務局	計画策定の枠組みは、概ね国から示されており、作成内容としてもあまり判断のいる内容ではないので、策定の際は必要に応じ審議会上に報告していく。 また、長期包括責任導入の可能性調査を行い、調査結果を検討し市として長期包括責任委託契約をすべきか判断する必要があり、審議会上においてはこれらを報告し意見をいただく考えである。
会長	他にご質問等は、あるか。 特にないようなので、今日の審議会上は終了する。 次回の日程をお知らせ願いたい。
事務局	次回の開催予定は11月を予定している。内容等が整えば、ご案内する。
会長	以上をもって、平成26年度第1回箕面市廃棄物減量等推進審議会上を終了する。